

### 補足説明

令和5年5月15日条件付一般競争入札公告により入札を中止した「鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備及び配水池造成工事」の質問書、回答書を今回の設計書の見直しにあたって変更点を事前にお知らせします。

質問内容	回答
1. 本工事における経費工種についてご教授願います	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公告ホームページにて補足説明を行っております。 そちらをご覧ください。</li><li>・ 「変更無」 「鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備及び配水池造成工事」は「厚生労働省 東日本大震災により被災した沿岸部の水道施設等に係る災害復旧事業（特例）」を活用していることから、水道工種区分（諸経費形態）は「構造物工事（浄水場等）」を採用しております。</li></ul>
2. 下記における工種は、見積対応と考えますがご公表願います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 残土処理費（土捨て場代価表 41 号→35号）</li><li>・ 岩ずり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 近隣、受け入れ可能2者から見積徴取し、運搬距離＋処理費にて積算し、安価単価となったものを採用しております。</li><li>・ 運搬を除き処理費のみであります。</li><li>・ 「変更無」</li><li>・ 「変更有」 現着単価を採用。近隣3者から見積を徴取し、各々の採石場からの現着単価（運搬費＋単価）の安価単価を採用しております。</li></ul>

<p>・支障木材伐採（代価表 20 号～26 号 →20 号）</p>	<p>・「変更有」 特記仕様書「16.支障木伐採及び伐根材処理関係」に記載があります特殊歩掛を採用しております。</p>
<p>・防塵対策工-ダンプ泥落装置（代価表 39 号 40 号→33 号 34 号）</p>	<p>・「変更有」 WEB 版 建設物価：令和 5 年 6 月「ダンプカー用泥落装置賃貸料金一かさ上げ全輪ウォーター型」（10 ヶ月未満）を採用しております。</p> <p>その他、粉塵対策が必要な場合、監督員と受注者で協議し、変更対応とします。</p>
<p>・伐根材処理費（代価表 30 号→24 号） 、積算上処分地</p>	<p>・「変更有」 ・岩手県単価 R5.6 を採用しております。 大船渡市内の処分場（中村建設）を採用しております。</p>

<p>②－１．単価適用年月は、いつ時点のものが反映されておりますでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> <li>・令和５年６月単価を採用しております。</li> </ul>
<p>②－２．残土処理費用は処分費の扱いになっておりますでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> <li>・ 特記仕様書「18. 土捨て場（処理場）」のとおりであります。</li> </ul> <p>今回、残土を処分場により処理を行うことから「処分費」扱いとしております。</p> <p>本工事の残土処理は28,630m<sup>3</sup>であり、多くの土捨て場やヤード等が必要となることから、他の公共工事との連携、受注者の意向・都合、日々地域の情勢の変化により、処分場以外での処分が必要な場合、「処分費扱い」とせず、変更対応します。</p>

<p>③－１．残土処理費（土捨場 総括代価表 41 号→35 号）について。</p> <p>作業道工事、配水池造成工の残土処理費（松村建設）の単価は、運搬除きの処理費のみと考えてよろしいかどうかご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運搬を除き処理費のみであります。</li> <li>・ 「変更無」</li> </ul>
<p>③－２．泥落装置のかさ上げ高さについてご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H=250mm を想定しております。</li> <li>・ 「変更無」</li> </ul>

<p>④－１．釜石市のホームページに掲載されている設計書に一位代価表が抜けている部分の提示をお願いします。</p> <p>※なお、入札参加につきましてはすべての設計書の提示を頂き、判断する予定であります。</p> <p>提示要求一位代価表 20～26号→20号、30号→24号 39号～41号→33号～35号</p>	<p>20～26号→20号について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> </ul> <p>特記仕様書「16.支障木伐採及び伐根材処理関係」に記載があります特殊歩掛を採用しております。</p> <p>30号→24号について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> <li>・24号は伐根材処分費単価となります。</li> <li>・岩手県単価 R5.6 を採用しております。</li> </ul> <p>大船渡市内の処分場（中村建設）を採用しております。</p> <p>39号～41号→33～35号について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> <li>・33号は防塵対策工-ダンプ泥落装置の湿式、「基本料」単価となります。</li> <li>・34号は防塵対策工-ダンプ泥落装置の湿式、「賃料単価」となります。</li> </ul> <p>WEB版 建設物価：令和5年6月「ダンプカー用泥落装置賃貸料金一かさ上げ全輪ウォーター型」(10ヶ月未満)を採用しております。</p> <p>その他、粉塵対策が必要な場合、監督員と受注者で協議し、変更対応とします。</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> <li>・35号は残土処理費単価となります。 近隣、受け入れ可能2者から見積徴取し、 運搬距離＋処理費にて積算し、安価単価 となったものを採用しております。</li> <li>・運搬を除き処理費のみであります。</li> </ul>
④－2．積算する上での工種区分、単価適用年月ならびに諸経费率年月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変更有」</li> <li>・「鵜住居地区施設再編事業に伴う工事用道路整備及び配水池造成工事」は「厚生労働省 東日本大震災により被災した沿岸部の水道施設等に係る災害復旧事業（特例）」を活用していることから、水道工種区分（諸経費形態）は「構造物工事（浄水場等）」を採用しております。</li> <li>・単価適用年月、諸経费率年月ともに令和5年6月となっております。</li> </ul>

<p>⑤－１．作業道工事（一次施工）内訳書１号〔3/4〕般運搬工計上寸法表記（積込方法・運搬距離）と一位代価表総括表や代価（12号）（13号）の積算条件と一致しない部分があります。</p> <p>積算上はどちらが正しいのでしょうか？ご教示ねがいます。</p>	<p>・「変更有」</p> <p>前回と積算数量、距離に変更は無いが、設計書の標記表現を整えております。</p>
<p>⑤－２．「岩ずり」に関して質問回答が公表され、回答には「現着 20 km圏内の単価を・・・」その平均値を採用しております」とありましたが、近隣３者のうち１者は10 km圏内と想定されます。</p> <p>その１者のみは現着 10 km圏内での単価を使用して平均値を採用しているのでしょうか？それとも３者すべてを現着 20 km圏内で単価条件を統一し、平均値を採用しているのでしょうか？</p>	<p>・「変更有」</p> <p>現着単価を採用。近隣３者から見積を徴取し、各々の採石場からの現着単価（運搬費＋単価）の安価単価を採用しております。</p>
<p>⑤－３．作業道工事（一次施工）内訳書１号〔3/4〕に支障木材伐採が計上されておりますが、こちらの金額はすべて共通仮設費、現場管理費、一般管理費の経費率の対象となっていますか？</p> <p>それとも控除対象となっていますか？控除対象になっているのであればその内容もご教示願います。</p>	<p>・「変更有」</p> <p>特記仕様書「16.支障木伐採及び伐根材処理関係」に記載があります特殊歩掛を採用しております。</p> <p>共通仮設費、現場管理費、一般管理費の対象となっております。</p>

<p>⑥－１．間接工事費の補正において「被災地復興係数」を計上しているとのことですが、当工事の復興係数は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通仮設費：補正係数 1.5</li> <li>・ 現場管理費：補正係数 1.2 でしょうか。 それとも</li> <li>・ 共通仮設費：補正係数 1.3</li> <li>・ 現場管理費：補正係数 1.1 でしょうか。 ご教示願います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「一部変更有」</li> <li>・ 間接工事費の補正については、岩手県ホームページに掲載があります「東日本大震災の復旧・復興事業等における工事費の補正について（更新日 令和５年３月１７日）」に準じ、採用しております。 今回は、<b>６月</b>の公告でありますので、復興係数は共通仮設費：補正係数 1.5 現場管理費：補正係数 1.2 を採用しております。 また下記のアドレスから内容のご確認をお願いいたします。 <a href="https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010932.html">https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010932.html</a></li> </ul>
<p>⑥－２．バックホウなどの建設機械損料は被災地補正をされていると推測しますが補正率をご教示願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バックホウなどの建設機械損料の被災地補正については、岩手県ホームページに掲載があります「東日本大震災の被災地で使用する建設機械の機械損料の補正の運用について（更新日令和５年３月１７日）」に準じております。  機械損料の補正の運用の対象工事は「東日本大震災津波に伴う復旧・復興工事」であるため、本工事も「対象」とし 100 分の 105 を採用しております。 また下記のアドレスから内容のご確認をお願いいたします。  <a href="https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010931.html">https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010931.html</a></li> <li>・ 「変更無」</li> </ul>



	<p>その他追加事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 処分費等の内訳書のうち、「伐根材処分費」は共通仮設費対象から除き、率による共通仮設費対象額控除対象（3%を超える率計算）には含まれております。</li><li>・ 作業道工事 掘削工に「機械積込工－土砂」「機械積込工－破碎岩」を追加しております。</li><li>・ 作業道工事 残土処理工 「不整地運搬」を5,000m3以上の単価を採用しております。</li><li>・ 作業道工事 殻運搬 「殻運搬工」の処分場が変更となっております。</li><li>・ 配水池造成工 掘削工 「掘削工軟岩」を5,000m3以上の単価を採用しております。</li><li>・ 配水池造成工 掘削工に「機械積込工－破碎岩」を追加しております。</li></ul>
--	---

--	--